

幼児教育施設での「遊び」を通じた学びの姿

※幼児教育の基本を踏まえて、それぞれの幼児教育施設では、特色ある教育活動を行っています。

どのくらい深いのかな？

指を入れてみようよ。つめたーい。

どんな遊びにもいくつもの「学び」と「学びの芽」があります。

今日はどうなお話だろう？

次はどうなるの？ドキドキする。



土の中からたくさんでてきたよ。

いくつあるの？



絵本に親しみ、興味をもって真剣に聞き、想像することを楽しみます。感動や共感体験だけではなく、集中力も育まれます。

氷の張った水たまりを見つけ、夢中になって遊ぶ中で、「ふしぎだな」「おもしろい」がたくさん広がります。

アイスコーヒーの海だあ。

ぼくが、助けに行く！

保育者は、楽しく一緒に遊びながら、子どもの興味が広がったり深まったりするように、環境づくりに努めています。

小さいのも大きいのもあるよ。

早く食べてみたいよ。

野菜を育てて、どろんこになりながら、収穫する喜びを感じたり、数量や形に関心をもったり、友達と言葉で伝え合う楽しさを味わいます。

どうやったらうまくできるかな。

ぼくが、こっちおさえるね。

「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」

- 健康な心と体
- 自立心
- 協同性
- 道徳性・規範意識の芽生え
- 社会生活との関わり
- 思考力の芽生え
- 自然との関わり・生命尊重
- 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
- 言葉による伝え合い
- 豊かな感性と表現

幼児教育施設では、これらの「姿」を目安に教育・保育をしています。



さらに理解を深めていただくため動画でわかりやすく解説しています。→



へえ、そうなんだね。私も、また行ってたしかめてみよう。

ペンギンさんの歩き方、おもしろかったね。



かかどて歩いてたよね。



いろいろな道具を使ったり、何回もやり直したり、試行錯誤しながら、友達と協力してやり遂げ、満足感を得たり、自信を深めたりしていきます。

卒園前には、感じたこと見たことを「伝えたい必要感」から文字への興味・関心が育ちます。また、体験を振り返ることで、興味・関心の世界が広がります。

幼児教育において育みたい資質・能力～小学校以降の教育につながる三つの力～

知識・技能の基礎

感じたり、気付いたり、分かったり、できるようになったりすること

思考力、判断力、表現力等の基礎

考えたり、試したり、工夫したり、表現したりすること

学びに向かう力・人間性等

心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活をしていこうとすること

遊びや生活を通して一体的に育まれることが大事です。

